



「見ていない人へ」

副主任 ○○○○

「コロナウイルスのせいで体重が増えてしまった。」本当にそうなのか？

「コロナウイルスのおかげでだらしのない自分に気づくことができた。」これが正解である。これを機に、現役時代の体を取り戻してみようと決意し、私の日常に少しずつ変化が起きた。

「やればできる」これは、前向きな言葉か否か？

何かを達成した人が言う「やったらできるもんだなあ。」

何もしていない人が言う「これくらいなら、やればできるし。」

同じ言葉でも、前者と後者には大きな差がある。

言い訳を並べ、本質的なことから目を背ける人。(例：体重増をコロナのせいにした私)

自分の弱さを素直に認め、反省を生かし改善する人。(例：日常に変化が起きた私)

そもそも本質自体が見えていない人もいるかもしれない。

しかし、この類の話は、見えている人がほとんどで、

大半は自分自身で本質的なことに気づくことができる。

このコロナ休校期間の過ごし方が重要であることは、誰もが理解している。

本質が見えていない人は致命傷を負い、本質を見ない人は逃げ癖が付く。

私の思い描く“なりたい自分”とは、そのどちらでもない。

私は「現役時代の体を取り戻す」を目標に掲げた。

目的は自己啓発。手段は食生活やトレーニング。

この目標を達成できたとき私は“なりたい自分”に少し近づけるかもしれない。

見ていない人へ

高校に入学した限り、1つ大きな目標が「進路の実現」である。

では、目標が進学。ならば、その目的は？そして、その手段は？

今、あなたの生活はどうか？コロナ休校期間を充実したものにできているのか？

「進路の実現」＝「コロナ休校期間の過ごし方」これが本質だと私は考える。

もし、この本質から目を背けている人がいたら「何か」変化を起こすべきだ。

その「何か」は分からないのではなく、見ていないだけではないだろうか。

〈連絡〉

- ・学校から郵送されるものがあります。
スタサプ関連の書類（IDや使用方法など）／各種課題（**休校期間延長**のため追加課題）
ガイダンスブック／学年通信 など。
- ・HPで新たに更新されたものは以下の通り。詳細はHPで確認してください。
（スタサプについて／漢検について／英検について／JKビジネスについて など）
- ・課題についての問い合わせは、気兼ねなくどんどん電話してください。（072-777-3711）
受けた質問Q&Aは、適宜、ホームページに掲載していきます。

「生活に学ぶ、学びを生活に」

7組担任 ○○○○

生活と学びはつながっています。家庭科の学習で印象に残っていることを聞くと、調理実習をあげる人がたくさんいます。『調理』にはいったいどれだけの学びの視点があるのでしょうか。

例えば、ごはん・味噌汁・肉じゃが、という献立。肉じゃがは「さ・し・す・せ・そ」の順番で味付けします。なぜこの順番なのでしょう、考えたことはありますか？一つは分子の大きさや浸透圧が関係します。理科の分野ですね。砂糖（さ）は塩（し）よりも分子が大きいのです（詳しくは3組の○○先生に聞きましょう！）。そもそもジャガイモって日本にあったの？肉は何を使う？関西で肉といえば牛肉らしいけど、豚肉や鶏肉で作る地域もある？宗教によっては食べられない肉がある？などは社会の知識（主任の○○先生、2組の○○先生に聞こう！）ですし、それらを紐解くためには国語の力（4組の○○先生、○○先生に学ぼう！）・外国語の力（5組の○○先生に学ぼう！）が必要になります。塩分とりすぎは健康によくないから、味噌汁の塩分濃度を適切に…数学の力が必要ですね（1組の○○先生、6組の○○先生よろしく！）。ご飯を炊こうと思います、さて1合って何ml？体積の1.2倍？重量の1.5倍？これもそうですね。出来上がった料理をどう盛り付ける？食空間は？この辺は芸術の力も必要です。そもそも献立を考えるときの栄養学には、体を働かせるための栄養素とどんな運動が必要かという保健体育の知識（副主任の○○先生お願いします！）も必要になります。

これらはごく一部ですが、ちょっと興味を持つだけでこれだけの学問に広がります。広がった学問はもっと細分化され、専門的に追及され、極められ、そして私たちの身近なところに帰ってきます。育てやすく栄養価が高くおいしい農畜水産物、レシピが検索できるサイト、ご飯が簡単に炊ける炊飯器や混ぜるだけのレトルトソース等々、各分野の専門家が知識・技術の粋を集めて生活を便利にしてくれています。技術だけでなく行事食・郷土料理などの日本文化、ハンバーグ、パスタなど他文化とのつながりが当たり前のように身近にある幸せ…「食」をちょっとだけ見ても、こんなに多岐にわたる分野が関係しています。

視点を変えるだけで生活は『学び』で満ちています！！もしかしたら生活→宇宙→生活なんて経緯をたどったものもあるかもしれませんよ。家庭生活は楽しい学問の「入口」です。「なぜ？」を大切に生活するのが、楽しむ第一歩。「楽しい」は知識が身につく第一歩。この機会に、身近ななぜに気付き、学び、体験してみましよう♪

「やる前から諦めないで！」

学年付 ○○○○

皆さんは自分の事を過小評価していませんか？「どうせやっても無理だ」「どうせ自分には出来ないからやっても意味が無い」そんな風に思った事はありませんか？私はこの考え方は間違っていると思います。

私は中学生の頃は自信がなく、挑戦するという事に消極的でした。しかし、高校生になるという時、今までの自分を変えたいと思い何でも積極的に挑戦するようにしました。様々な資格の取得や全校生徒の前での意見発表など、今まで絶対にやらなかった事をやってみました。失敗することもありましたが、成功した時の喜びは私に自信をつけてくれました。そんな中、ある事に挑戦しようとした時、周りから「やる前から結果はわかっているから辞めたほうがいい」そう言われました。もちろん周りの意見を聞くことは大事です。しかし、どうしても諦められなかった私は、周りの反対を押し切って挑戦しました。結果は成功。このことから、「やる前から結果がわかることは無い！」ということを学びました。

皆さんも興味あることにはどんどん挑戦してみてください。ただし、ただ挑戦するだけではダメです。成功させるためにはたくさんの努力が必要です。普段の積み重ねが必要です。今、自分がやっていることは、すべて自分の未来につながると信じて頑張ってみてください。

今回はパノラマ写真にしてみました。校舎、渡り廊下、体育館、グラウンドなど。快晴で、いい写真が撮れました。しかし、生徒の賑わいがなく、寂しくも感じました。

